

トピックス4 令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風による災害の復旧に向けた技術支援等

(関東森林管理局・東北森林管理局)



- ・千葉県 君津市（きみつし） 民有林
- ・無人航空機で撮影した倒木被害の様子



- ・宮城県 登米市（とめし）
林道野尻（のじり）線
- ・被災林道における測量の様子

関東森林管理局では、令和元年9月の令和元年房総半島台風により被害を受けた千葉県や静岡県において、ヘリコプターによる被害状況の調査を実施し、山腹崩壊等の状況確認作業を支援したほか、県や市町村からの要請を受けて、民有林野における倒木被害状況を確認するため、無人航空機を用いた調査を実施しました。また、千葉県において、倒木処理の要望調整等のため、36市町村に対して情報収集等を行うとともに、倒木による停電からの復旧に向けて県内各地に設置された自衛隊・東京電力共同調整所等に職員延べ63名を派遣しました。

東北森林管理局では、令和元年10月の令和元年東日本台風により国有林野内だけでなく宮城県の民有林野内の林道施設も甚大な被害を受けたことから、県からの支援要請を受けて、11月25～29日に登米市に職員6名、みなみさんりくちょう12月2～6日に南三陸町に職員3名を派遣しました。派遣された職員は国有林での実務経験や技術を活かして、県、市町、森林組合等と協力して現地での測量や資料作成等の支援業務に当たり、2週間で17路線・58か所の被災箇所の調査を行い、災害復旧の申請に必要な資料を完成することができました。